

2023年度（令和5年度） 事業計画書

社会福祉法人すこう福祉会
ワークハウスわらしべ
わらしべ相談支援事業所
わらしべホーム

法人	法人理念に基づき、安心安全な施設運営に努める。
	利用者のニーズが多様化、複雑化している。 利用者のニーズに合った事業が行えるよう、情報収集を行う。
	生活介護事業、就労継続支援B型事業は、利用が増える予定がある。利用率のアップの検討をし、収入の安定と支出削減を継続し、収支改善に努力する。
	相談支援事業の充実のため、情報機器を整える。
	共同生活援助事業は利用者が安心して暮らせる場の提供と充実した生活の支援を行う。
	短期入所事業は感染症の状況をみながら、受け入れの再開の体制を検討していく。
	福祉有償輸送サービス、地域生活支援事業は利用者のニーズに合わせた支援を継続する。
	法人全体の職員人材確保をし、適正な職員配置を行いながら支援力向上を目指す。 職員会時に法人内研修を行う。 外部研修に出席できる職員体制の確保を行う。
	虐待防止、苦情対応として、利用者のご家族の意見を取り入れる工夫と、サービス向上に努める。虐待防止委員会を定期的に開催する。
	介護事故防止、リスクマネジメントとしてヒヤリハット報告、再発防止、原因の追及、解明を行う。また、危険行為や危険箇所の報告を行い、全職員へ周知し、事故の防止に努める。
	感染症対策の継続。 新型コロナウイルスに関する情報収集。施設内では基本的な感染予防対策を継続。状況の変化に対応していく。
	防災訓練を年2回実施し、日頃から防災への意識を持つ。災害対策の業務継続計画を作成し、備蓄品や非常食の確認と必要物品の補充を行う。
	建物、備品の老朽化、経年劣化での修理や買い替えが増えている。 点検が必要な備品は定期的に業者の点検を行い、不具合があるものは、更新を計画的に行い、補助金等を活用する。 突発的な修繕に対して、予算を計上しておく。
	実習生、ボランティアの受け入れを行い、利用者との交流する機会を持つ。 また、情報公開を行い、地域の方とのつながりを大切にする。 状況をみながら、「わらしべまつり」を実施する。
正規職員9名、パート職員14名 各部署に必要な応じた職員配置を行う。	
就労継続支援事業B型 定員20名 登録者23名	
生活介護事業 定員20名 登録者29名	
管理者会議、職員会（月1回）各種ミーティングの継続。	
外部研修、資格取得のための研修への出席。	
年2回の避難訓練実施。 ワークハウスわらしべ独自の業務継続計画を作成する。	

就労継続 支援事業 B型 生活介護事業	<p>修繕箇所が多くなっている。設備等、点検を行いながら、長期間使用可能できるように使用していく。</p> <p><修理予定箇所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・浴用ボイラー 感震器、マイコン交換 1,270,000円 (12月の水漏れの際に不具合がでてしまったもの、発注済み) ・エアコン更新 1か所 1,600,000円 (令和4年度未実施のため) ・ブラインド交換 食堂、作業室等 5か所 100,000円
	<p>とうふ製造部門は品質向上に努め、販売先の拡大及び品評会の連続入賞を目指す。新製品のおぼろ豆腐を開発したい。</p>
	<p>軽作業部門は、昨年度新規に始めたきのこキャップ作業が期限のある作業のため、(6月末まで)その間に他の作業売り上げが落ちないように、効率のよい作業内容にする。</p>
	<p>印刷部門は毎月安定して収入を得られる作業を模索する。経費削減への取り組みを行う。</p>
	<p>入浴支援は安全に入浴介助が行えるよう、介護技術の向上に努める。利用者の重度高齢化に対し、福祉用具を使用し、利用者職員に負担のない介護を行う。</p>
	<p>感染症の状況をみながら余暇支援につなげる行事を行う。</p>
	<p>看護師が1名採用し、いつでも健康状態などを相談できる体制をとる。また、加算を取得できる体制になるため、収入増につなげる。</p>
	<p>利用者に安心安全な支援を行えるよう、報告、相談を随時行い、必要な場合は関係機関と連携を行う。</p>
	<p>送迎者が増加しているため、随時送迎体制を見直し、スムーズな送迎に務める。職員会時に交通安全講習会を行い、安全意識を高める。</p>
相談支援事業	<p>専任職員1名、兼務職員2名</p>
	<p><修繕箇所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援棟窓枠、網戸の修理 100,000円 ・情報ツールの更新 50,000円 (携帯電話の更新、メールアドレスの取得、プリンターの活用)
共同生活 援助事業 短期入所 事業	<p>様々な支援機関との連携・連動・地域社会とのはしわたしをするという役割を適切に行い、利用者に寄り添い、地域で希望する生活を継続していくよう支援する。</p>
	<p>共同生活援助事業 定員5名 現在利用者5名</p>
	<p>短期入所事業 定員1名 現在登録者4名</p>
	<p>正規職員1名、パート職員10名 余裕のない職員配置のため、増員を検討していく。</p>
	<p>早番、遅番、夜勤の職員体制を継続し、安心して生活できる場とする利用者職員との信頼関係維持に努め、利用者話し合いを持ちながら充実した生活が出来るよう支援する。</p>
	<p>利用者の健康、衛生面に注意し、食事提供を行う。 食事提供は、食材を注文、配達していただく業者に依頼していく</p>
	<p>医療機関と連携し、突発的な病気やけが等に対応する。</p>
	<p>職員会、ミーティングの実施。</p>
	<p>利用者に負担していただいている食費、水道光熱費、日用品費が物価高騰により値上げを検討せざるを得ない。利用者、ご家族に理解を得ながら、定期的に清算し、適切な費用を検討していく。</p>
	<p>避難訓練の実施。夜間を想定した訓練も行う。 わらしべホーム独自の業務継続計画を作成する。</p>
<p>利用者の希望や意見を傾聴し、ご家族との連絡、調整に努める。</p>	
<p>短期入所再開の検討をし、必要物品を揃える。</p>	